

資料2

あいちペロブスカイト太陽電池推進協議会 第2回会議

2026年3月19日



- 本資料は『あいちペロブスカイト太陽電池推進協議会』での利用を前提に作成されておりますので、事前の承諾なく全部または一部を第三者に開示されることのないようお願い申し上げます。
- 本資料における分析結果は、一定の前提の基で算出した数値であり、内容の採否や使用方法については協議会構成員自らの責任で判断を行うものとします。
- 本報告書における分析手法は多様なものがありうる中での一つを採用したに過ぎず、その達成可能性に関して事務局がいかなる保証をあたえるものではありません。
- 本資料に記載されている情報は、調査時点のものであり、公開情報を除き、調査対象者から提出を受けた資料、また、その内容についての質問を基礎としております。これら入手した情報自体の妥当性・正確性については、事務局側で責任を持ちません。

議事次第

アジェンダ	説明者	開始時刻	時間 ※協議時間含む
開会挨拶	愛知県副知事 古瀬 陽子 氏	15:00	
座長挨拶	愛知工業大学 工学部電気学科 教授 雪田 和人 氏		20分
1. 今年度の取組報告	事務局		
2. 取組の詳細報告	事務局	15:20	60分
3. その他	事務局	16:20	5分
閉会	事務局	16:25	-

配布資料

- 議事次第
- (資料1)協議会規約
- (資料2)第2回協議会資料
- 座席表
- 参加者名簿

資料が不足している等ございましたら、お近くの事務局担当者にお声掛けください

開会挨拶

愛知県副知事
古瀬 陽子 氏

座長挨拶

愛知工業大学 工学部電気学科
教授 雪田 和人 氏

1. 今年度の取組報告

推進協議会の構成メンバーは115団体に増加し、活動を推進している

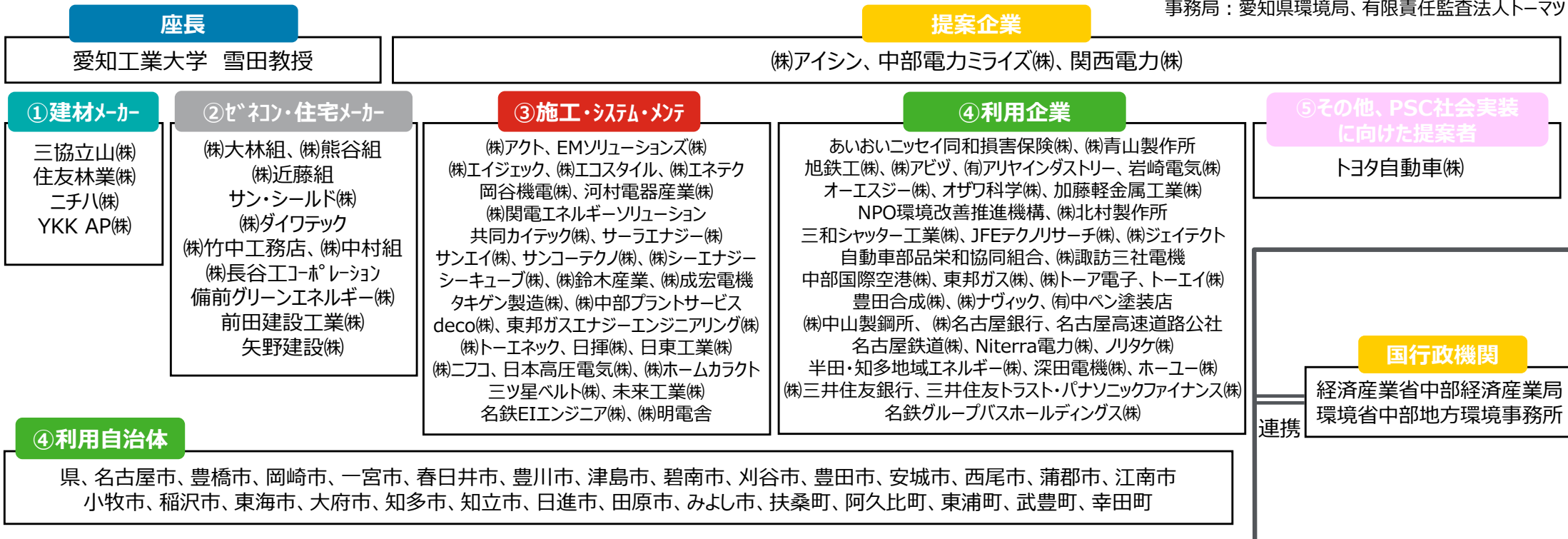
協議会の目的

2025年度から愛知県が事業化を支援する「PSC普及拡大プロジェクト」について、全国に先駆けてPSCを地域に最大限導入を図るため、
 ①建材メーカー、②ゼネコン・住宅メーカー、③PSCの施工・システム設計・メンテナンス等のサービス提供事業者、④率先利用企業・市町村、
 ⑤本プロジェクトの社会実装に向けて提案のある方等から構成される会議体を設置し、プロジェクトを推進する。

座長 + 参画84社・団体、31行政機関[国と自治体]

敬称略。五十音順(自治体は建制順)。

事務局：愛知県環境局、有限責任監査法人トーマツ



【建築物等PSC社会実装推進WG】

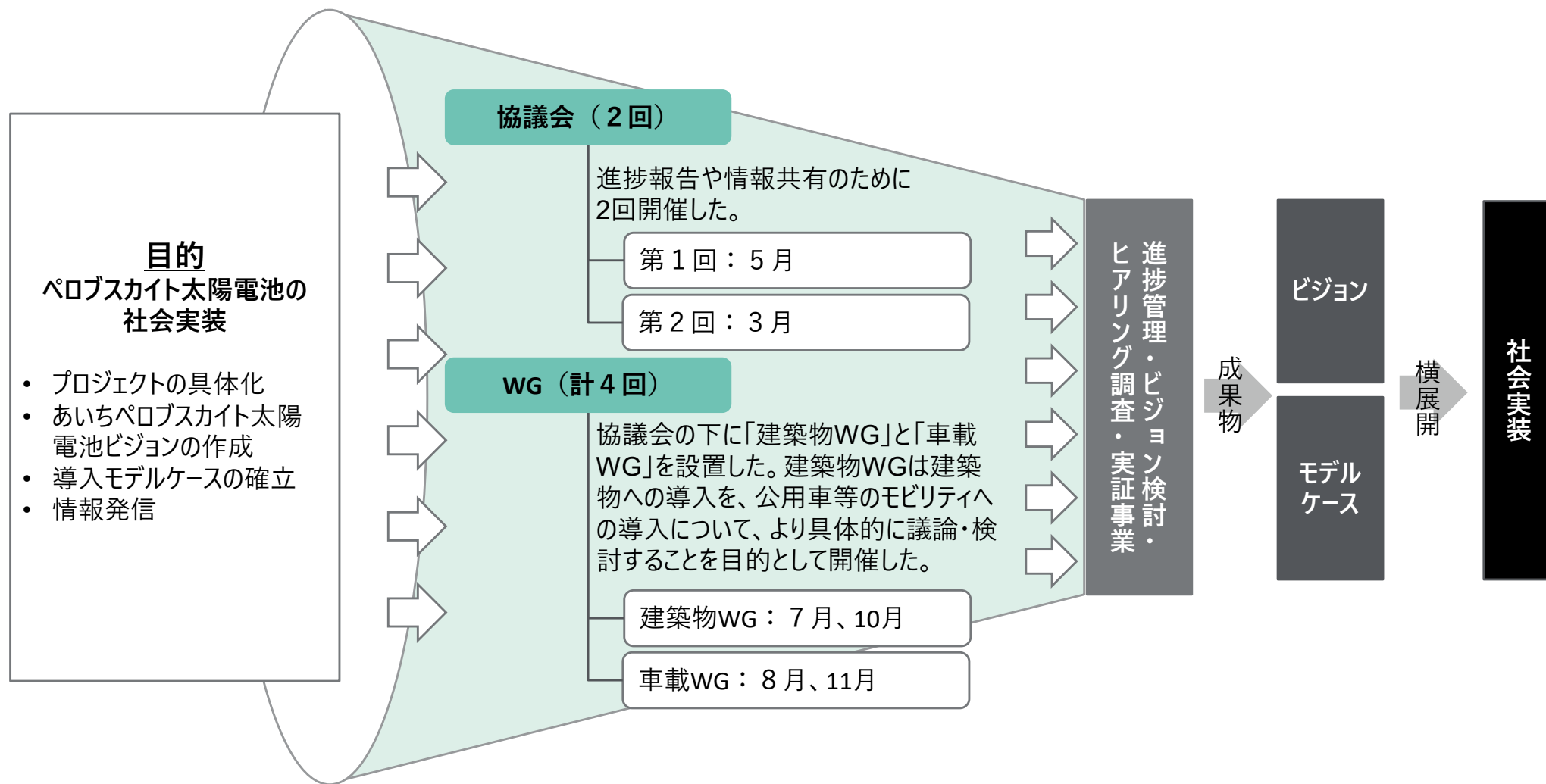
対 象：公共施設、工場、道路、鉄道、公園等の建築物 等
 検討内容：実証導入、ポテンシャル調査、モデルケース確立 等

【公用車等車載PSC社会実装推進WG】

対 象：県・市町村の公用車（給食配送車、塵芥車 等）
 公共交通のバス 等
 検討内容：実証導入、ポテンシャル調査、モデルケース確立 等

協議会と4回のWGを通じ、実証の推進やポテンシャル推計の進捗報告や議論を行った

協議会とWGの目的



協議会



推進協議会を86団体で設立し、第1回会議を開催しました より具体的な活動を実施するため「建築物」と「車載」のワーキンググループを設置しました

第1回協議会の内容

日時	2025年5月30日(金) 14:30-16:15
場所	名古屋コンベンションホール中会議室301+302（オンライン併用）
会議名	あいちペロブスカイト太陽電池推進協議会 第1回会議

アジェンダ	説明者	概要
開会挨拶	愛知県知事 大村秀章	—
座長挨拶	愛知工業大学 工学部電気学科 教授 雪田和人	—
記念撮影	参加者全員	—
1. 推進協議会の取組について	事務局	推進協議会規約及び推進協議会の体制・設立趣旨・事業の方向性・スケジュール等について説明を実施した。
2. 【提案企業の取組紹介】 ペロブスカイト太陽電池（PSC）等の紹介	(株)アイシン、中部電力ミライズ(株) 関西電力(株)	ペロブスカイト太陽電池普及拡大プロジェクトの提案企業である3社から、自社の取組について説明を実施した。
3. 推進協議会の参画メンバーの取組紹介	YKK AP(株)、日揮(株) 事務局	2社から自社の取組について説明を実施した。 その他参画企業の取組について事務局から説明を実施した。
4. 県有施設・市町村施設における実証候補 施設の紹介	事務局	実証候補施設となる県有施設や市町村施設について事務局から説明を実施した。
5. その他、本プロジェクトの社会実装に向けた 提案	トヨタ自動車(株) 事務局	推進協議会で建築物の他、車載についても検討対象に加えた いとこのトヨタ自動車(株)の提案を受け、建築物と車載の2つのワー キンググループを設置することを事務局から説明を実施した。

WG



建築物等へのPSC導入に向け、県有施設での実証検討状況や導入ポテンシャル調査等具体的な取組の報告と意見交換を実施しました

第1回建築物WGの内容

日時	2025年7月28日(月) 10:00-12:00
場所	JPタワー名古屋 D.Forum（オンライン併用）
会議名	第1回 建築物等ペロブスカイト太陽電池 社会実装推進ワーキンググループ

アジェンダ	説明者	概要
開会挨拶	事務局	—
建築物WGの目的と本日の報告内容	事務局	ワーキンググループの目的、参画団体、スケジュール等について説明を実施した。
協議会メンバーの取組紹介	(株)大林組	自社の取組について説明を実施した。
導入ポテンシャル調査報告	事務局	県内におけるPSC導入ポテンシャル調査の暫定結果を報告し、建築物等への設置における技術的・制度的課題について議論した。
県公共施設等における実証事業の進捗報告	事務局	実証事業の目的や計画、県公共施設等の検討状況を報告し、設置場所の留意点について意見交換を実施した。
来年度（2026年度）実証施設の公募	事務局	2026年度実証施設公募概要の検討状況の説明を実施した。
ヒアリング調査の進捗報告	事務局	プロジェクト推進のために実施した関係者へのヒアリング調査から得られた結果や課題について報告した。
今後のスケジュール	事務局	今後のスケジュールについて説明を実施した。

建築物等へのPSC導入に向け、県有施設での実証検討状況や導入ポテンシャル調査等具体的な取組の報告と意見交換を実施しました

第2回建築物WGの内容

日時	2025年10月20日(月) 15:00-16:30
場所	JPタワー名古屋 D.Forum（オンライン併用）
会議名	第2回 建築物等ペロブスカイト太陽電池 社会実装推進ワーキンググループ

アジェンダ	説明者	概要
開会挨拶	事務局	—
建築物WGの目的と本日の報告内容	事務局	ワーキンググループの目的、参画団体、スケジュール等について説明を実施した。
導入ポテンシャル調査報告	事務局	発電コストや用途別の導入ポテンシャル調査暫定結果を報告し、コスト算定の前提条件の明確化や維持管理費の精緻化、シリコン系との比較分析等について意見交換を実施した。
県公共施設等における実証事業の進捗報告	事務局	県公共施設等の検討状況を報告し、設置場所の絞り込みやスケジュールについて意見交換を実施した。
来年度（2026年度）実証施設の公募	事務局	2026年度実証施設公募状況について報告した。
ヒアリング調査の進捗報告	事務局	ヒアリング調査の結果を報告し、PSC導入に向けた期待や課題、関連法規等について意見交換を実施した。
今後のスケジュール	事務局	今後のスケジュールについて説明を実施した。

公用車等へのPSC導入に向け、導入ポテンシャルや実証に向けた調査等について 報告と意見交換を実施しました

第1回車載WGの内容

日時	2025年8月29日(金) 14:00-15:30
場所	愛知県議会議事堂大会議室（オンライン併用）
会議名	第1回公用車等車載PSC社会実装推進ワーキンググループ

アジェンダ	説明者	概要
開会挨拶	事務局	—
車載WGの目的と取組の方向性 ①WGの目的・報告内容 ②車載WGについて	事務局 トヨタ自動車(株)	事務局から、ワーキンググループの目的、参画団体、スケジュール等について説明を実施した。 トヨタ自動車から自社の取組や今後の実証方針について説明を実施した。
愛知県の導入目標と実証計画 ①ポテンシャルと目標 ②実証計画	事務局	乗用車等におけるPSC導入ポテンシャル調査の暫定結果を報告した。 実証計画について説明を実施した。
調査検討内容 ①実証対象とする車種（公用車等） ②実証内容 ③車載PSCの新価値 ④アンケート調査	事務局	実証内容の検討状況について説明を実施し、意見交換を実施した。
その他	事務局	今後のスケジュールについて説明を実施した。

公用車等へのPSC導入に向け、導入ポテンシャルや実証に向けた調査等について 報告と意見交換を実施しました

第2回車載WGの内容

日時	2025年11月28日(金) 15:00-16:15
場所	JPタワー名古屋D.Forum（オンライン併用）
会議名	第2回公用車等車載PSC社会実装推進ワーキンググループ

アジェンダ	説明者	概要
開会挨拶	事務局	—
車載WGの目的と本日の報告内容	事務局	ワーキンググループの目的、参画団体、スケジュール等について説明を実施した。
東京都の取組内容	東京都	東京都から、都の取組について説明を実施した。
車載WG構成メンバーのアンケート結果等の報告	事務局	WG構成メンバーの所有車両やWGに関するアンケート結果を報告し、意見交換を実施した。
来年度以降の実証方針と支援内容、スケジュール	事務局	実証方針やスケジュール案を説明し、意見交換を実施した。
導入ポテンシャルと発電コスト	事務局	車種別の保有台数や利用状況等を基に算定した車載PSCの導入ポテンシャル暫定結果を報告し、その普及に向けた課題となる発電コストの具体的な算出方法について意見交換を実施した。
その他	事務局	今後のスケジュールについて説明を実施した。

あいちペロブスカイト太陽電池ビジョン（案）



愛知県の温室効果ガス排出削減目標とペロブスカイト太陽電池の位置付け

- ✓ 愛知県は、「あいち地球温暖化防止戦略2030（改定版）」に基づき、2030年度の温室効果ガス排出量を46%削減（2013年度比）し、2050年までにカーボンニュートラル達成を目指す目標を掲げている。また、再生可能エネルギーを2021年度比で1.7倍にする目標を掲げており、太陽光発電の導入量を1.43GW上積みする必要がある。
- ✓ 次世代型太陽電池である「ペロブスカイト太陽電池（PSC）」は、従来のシリコン系太陽電池では設置が難しかった耐荷重の低い屋根や壁面等にも活用でき、導入量を飛躍的に増加させる可能性がある。



PSC普及拡大に向けた方針と目標

- ✓ 愛知県は、全国一のモノづくり県であり、産業集積地である強みを活かし、PSCの普及拡大に向けたサプライチェーンを構築し、公共施設を始め、工場、倉庫、商業施設、その他建築物や社会インフラ等へPSC導入を積極的に進める。
- ✓ 【目標】2040年までに1.2GWのPSCの導入を目指す。

目標の実現に向けた方向性

県内生産の推進

全国一の製造品出荷額等を誇るモノづくり県である強みを活かし、PSCパネル始め関連資材の県内生産を進め、効率的なサプライチェーンを構築する。

自動車産業等との連携

世界的な自動車産業拠点である強み等を活かし、車載型PSC等の新たな用途開発にも取り組む。

リサイクルの推進

使用済みPSCの適正な処理と資源リサイクルに向けた情報収集・発信を進める。



多様な施設への導入

大都市圏である強みや製造業を中心とした産業集積性を活かし、公共施設を始め、工場、倉庫、商業施設、その他建築物や社会インフラ等へ積極的にPSC導入を推進する。
従来のシリコン系太陽電池では設置が困難であった耐荷重の低い屋根や壁面、建材一体型等、施工技術を確立し、導入を拡大する。

メンテナンス手法の確立

耐荷重の低い屋根、壁面、建材等、多様化する設置場所に対応したメンテナンス手法を確立する。

県内での普及拡大

(その他の取組) ペロブスカイト太陽電池見学会を実施しました

見学会の内容

日時	2025年12月10日(水)、17日(水) 両日 10:00-16:00
場所	アイシン安城工場

- アイシン様に協力いただき、推進協議会メンバー向けにペロブスカイト太陽電池見学会を実施
- 実際の設置状況を見学し、社会実装に向けたイメージを共有
- 施工関係を中心に情報交換を実施

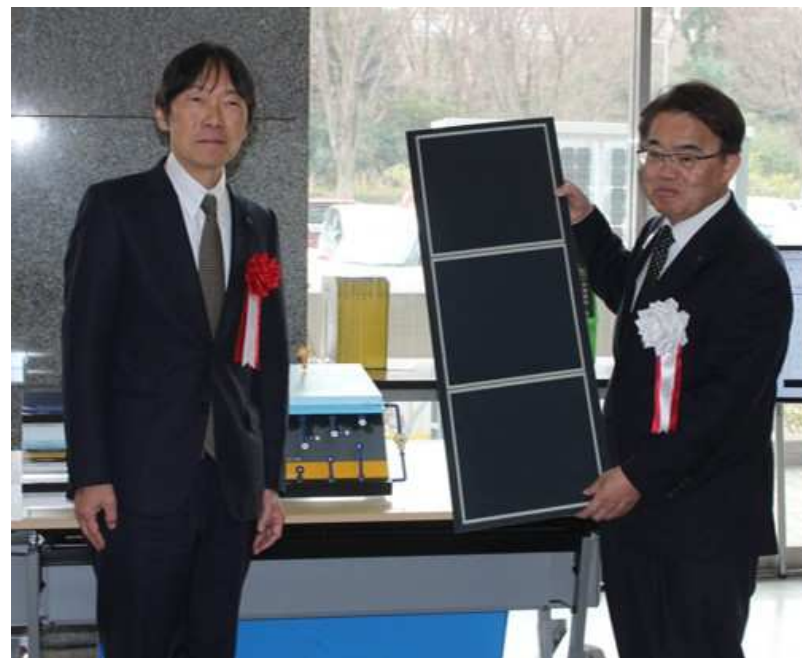


(その他の取組) ペロブスカイト太陽電池実証開始式を開催しました

実証開始式の内容

日時	2026年2月26日(木) 10:30-10:40
場所	愛知県庁西庁舎

- 愛知県庁西庁舎でのPSC実証開始に併せて式典を開催
- 愛知県 大村知事・古瀬副知事、(株)アイシン 塩田執行役員、中部電力ミライズ(株) 櫻井執行役員、関西電力(株) 久留島担当部長出席
- 推進協議会メンバー参加、式典後に見学会を実施



(その他の取組) PR資料を作成しました

- ペロブスカイト太陽電池の社会実装に向けた取組をPR
- 推進協議会の紹介や愛知県庁西庁舎での実証を掲載
- 年度内に愛知県Webページに掲載予定

愛知から未来を貼る。次世代型太陽電池、始動。

ペロブスカイト太陽電池PSC
Perovskite Solar Cells

薄いシート状の太陽電池で、従来のシリコン系太陽電池と比べて軽量で柔軟性に優れているため、次世代型の太陽光発電として注目されています。

国産資源を活かし、環境負荷を抑えるPSC
PSCは日本で開発された次世代型の太陽電池で、主原料はヨウ素です。日本はヨウ素の世界有数の産出国で、国内調達が可能点が強みとなります。供給安定に加え、製造時のCO2の排出量が少ないこともメリットのひとつです。

身近な場所が、発電スペースに。

PSCの特徴

- 薄い
- 軽い
- 曲げられる

30%以上の発電効率
2位 (100W未満)

愛知県ペロブスカイト太陽電池普及拡大プロジェクト
愛知県では、PSCの実証導入と、全国に先駆けた普及モデルの確立を進めています！

愛知県庁西庁舎でペロブスカイト太陽電池実証を開始

愛知県では、2050年カーボンニュートラルを実現するための、2021年から全国の民間企業等を対象に、革新的・独創的な投資案件プロジェクトのアイデアを募集するとともに、提案されたアイデアの中から、事業化しやすいプロジェクトを支援する「あいちカーボンニュートラル戦略会議」で選定し、事業化の支援を行っています。2026年2月、「ペロブスカイト太陽電池普及拡大プロジェクト」の事業化を支援するため、愛知県庁西庁舎にペロブスカイト太陽電池を設置（県内公共建築物では初）し、発電量や発電効率等を検証する実証事業を開始しました。

あいちペロブスカイト太陽電池推進協議会を設立しました

ペロブスカイト太陽電池(PSC)を社会実装していくために、様々な企業、団体、市町村等が参加して協議会を立ち上げました。実証の導入やモデルケースづくりを通して、普及に向けた課題解決を進めます。

愛知から全国へ、次世代型太陽電池のモデルを

協議会では、県内諸般におけるPSCの実証導入を進め、効果検証を行います。あわせて社会実装に向けて各種の調査や課題整理を実施し、普及拡大に向けた解決策を検討します。

115団体
(2026年3月現在)

サプライチェーンを構築しPSC導入を積極的に進めます！

企業一丸のモノづくり県、事業興隆地である愛知県の強みを活かし、工場や商業施設等へのPSC導入を積極的に進め、再生可能エネルギーの導入拡大、カーボンニュートラルの実現を目指します。

県内での普及拡大

- 製造
- 施工・導入
- メンテナンス
- 資源循環

提案企業の主な役割

<p>AISIN 株式会社アイシン PSC製造、普及に向けた各種検討</p> <p>愛知県の推進協議会に参加している企業と一緒に、新事業創出の様々な課題を乗り越えていきます！</p> <p>代表取締役 大野 大志人</p>	<p>中部電力ミライズ株式会社 中部電力ミライズ 地域内の情報提供、PSC普及拡大に向けた各種検討</p> <p>PSCの最適な活用方法の検討を進め、地域企業との協業と、愛知県の産業振興および環境持続性を実現します！</p> <p>代表取締役 藤田 大志人</p>	<p>関西電力 power with heart 関西電力株式会社 PSC普及拡大に向けた各種検討</p> <p>PSCの特性を活かした取組方法を模索し、その強みを活かして再生可能エネルギーの受容拡大に貢献していきます！</p> <p>代表取締役 山本 大志人</p>
--	---	---

カーボンニュートラル社会を一緒に目指しましょう！

お問い合わせ先
愛知県環境局地球温暖化対策課
〒460-8501名古屋市中区三の丸3-1-2
Tel.052-954-6887
✉ ondanka@pref.aichi.lg.jp